

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【公表番号】特表2010-520316(P2010-520316A)

【公表日】平成22年6月10日(2010.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2010-023

【出願番号】特願2009-551200(P2009-551200)

【国際特許分類】

C 09 D 201/00 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

C 09 D 5/02 (2006.01)

A 61 L 29/00 (2006.01)

A 61 L 31/00 (2006.01)

【F I】

C 09 D 201/00

C 09 D 7/12

C 09 D 5/02

A 61 L 29/00 Z

A 61 L 31/00 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年4月2日(2014.4.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

親水性コーティングを調製するためのコーティング配合物であって、前記親水性コーティング配合物が、

(a) ポリラクタムである親水性ポリマーと、

(b) 重合反応を受けることができる少なくとも2つの反応性部分を含む支持ポリマーであって、前記支持ポリマーが、1,100~10,000g/molの範囲の数平均分子量を有し、前記支持ポリマーの骨格が、ポリエーテルであり、前記少なくとも2つの反応性部分が不飽和エステルである支持ポリマーと、

(c) -ヒドロキシアルキルフェノン類であるノリッッシュI型光開始剤と、

(d) ベンゾフェノンおよびベンゾフェノン誘導体からなる群から選択されるノリッッシュII型光開始剤と

を含み、

前記ノリッッシュI型光開始剤：前記ノリッッシュII型光開始剤の重量比が、5:1~1:5の間であるコーティング配合物。

【請求項2】

前記コーティング配合物中の光開始剤の全量が、乾燥コーティングの全重量を基準として、0.2~1.0重量%の間である請求項1に記載のコーティング配合物。

【請求項3】

アクリル酸のホモポリマーおよびコポリマーの塩、メタクリル酸のホモポリマーおよびコポリマーの塩、マレイン酸のホモポリマーおよびコポリマーの塩、フマル酸のホモポリマーおよびコポリマーの塩、スルホン酸基を含むモノマーのホモポリマーおよびコポリマ

ーの塩、第4級アンモニウム塩を含むモノマーのホモポリマーおよびコポリマー、ならびにこれらの混合物および／または誘導体からなる群から選択される高分子電解質をさらに含む請求項1に記載のコーティング配合物。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか一項に記載のコーティング配合物を硬化させることによって得られる親水性コーティング。

【請求項5】

請求項4に記載の親水性コーティングに湿潤流体を適用することによって得られる潤滑性コーティング。

【請求項6】

Harland FTS摩擦試験機で測定したときに、20g以下である1サイクル後の初期潤滑性を有する請求項5に記載の潤滑性コーティング。

【請求項7】

25回のガーゼ摩擦の後にHarland FTS摩擦試験機で測定したときに、300gのクランプ力で60g以下である耐摩耗性を有する請求項5に記載の潤滑性コーティング。

【請求項8】

請求項1～3のいずれか一項に記載のコーティング配合物と、高分子電解質を含む湿潤流体とを含む、潤滑性コーティングを調製するためのコーティング系。

【請求項9】

請求項4～7のいずれか一項に記載の少なくとも1つの親水性コーティングまたは潤滑性コーティングを含む物品。

【請求項10】

前記物品が医療機器または部品である請求項9に記載の物品。

【請求項11】

カテーテル、医療用チューブ、ガイドワイヤ、ステント、または膜を含む請求項10に記載の医療機器または部品。

【請求項12】

請求項1～3のいずれか一項に記載のコーティング配合物を物品の少なくとも1つの表面上に塗布することと、

前記配合物を電磁放射にさらし、それにより開始剤を活性化することによって前記コーティング配合物を硬化させることと
を含む、基材上に親水性コーティングを形成する方法。

【請求項13】

前記支持ポリマーが、1,200～7,000g/molの範囲の数平均分子量を有する請求項1に記載のコーティング配合物。

【請求項14】

前記支持ポリマーが、1,400～5,000g/molの範囲の数平均分子量を有する請求項1に記載のコーティング配合物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0013

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0013】

適切なノリッシュI型またはフリーラジカル光開始剤の例は、ベンゾイン誘導体、メチロールベンゾインおよび4-ベンゾイル-1,3-ジオキソラン誘導体、ベンジルケタール類、-ジアルコキシアセトフェノン類、-ヒドロキシアルキルフェノン類、-アミノアルキルフェノン類、アシルホスフィンオキシド類、ビスアシルホスフィンオキシド類、アシルホスフィンスルフィド類、ハロゲン化アセトフェノン誘導体などである。

適切なノリッシュ型光開始剤の市販の例は、Irgacure 2959 (2-ヒドロキシ-4'-(2-ヒドロキシエトキシ)-2-メチルプロピオフェノン)、Irgacure 651 (ベンジルジメチルケタールまたは2,2-ジメトキシ-1,2-ジフェニルエタノン、Ciba-Geigy)、Irgacure 184 (活性成分として1-ヒドロキシ-シクロヘキシル-フェニルケトン、Ciba-Geigy)、Darocur 1173 (活性成分として2-ヒドロキシ-2-メチル-1-フェニルプロパン-1-オン、Ciba-Geigy)、Irgacure 907 (2-メチル-1-[4-(メチルチオ)フェニル]-2-モルホリノプロパン-1-オン、Ciba-Geigy)、Irgacure 369 (活性成分として2-ベンジル-2-ジメチルアミノ-1-(4-モルホリノフェニル)-ブタン-1-オン、Ciba-Geigy)、Esacure KIP 150 (ポリ{2-ヒドロキシ-2-メチル-1-[4-(1-メチルビニル)フェニル]プロパン-1-オン}、Fratelli Lambert)、Esacure KIP 100F (ポリ{2-ヒドロキシ-2-メチル-1-[4-(1-メチルビニル)フェニル]プロパン-1-オン}および2-ヒドロキシ-2-メチル-1-フェニル-プロパン-1-オンのブレンド、Fratelli Lambert)、Esacure KTO46 (ポリ{2-ヒドロキシ-2-メチル-1-[4-(1-メチルビニル)フェニル]プロパン-1-オン}、2,4,6-トリメチルベンゾイルジフェニル-ホスフィンオキシドおよびメチルベンゾフェノン誘導体のブレンド、Fratelli Lambert)、アシルホスフィンオキシド、例えばLucirin TPO (2,4,6-トリメチルベンゾイルジフェニルホスフィンオキシド、BASF)、Irgacure 819 (ビス(2,4,6-トリメチルベンゾイル)-フェニル-ホスフィン-オキシド、Ciba-Geigy)、Irgacure 1700 (ビス(2,6-ジメトキシベンゾイル)2,4,4-トリメチル-ペンチルホスフィンオキシドおよび2-ヒドロキシ-2-メチル-1-フェニル-プロパン-1-オンの25:75%のブレンド、Ciba-Geigy)などである。I型光開始剤の混合物も使用することができる。